

ウクライナ戦争の長期化やトランプ関税を起因とする景気先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により顧客側も様子を見守っている。10～12月売上は対前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

〔不動産売買・賃貸管理業〕
7～9月売上は前年比横這い。相続相談業務に力点を置いており、遊休不動産の買取・販売を重視。住宅ローンの推進活動にも力を入れ、10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（鎌倉地区）
〔金属加工業〕
7～9月売上は前年比4%増加。トランプ関税の影響は軽微で徐々に売上げ増加。原材料価格が上昇しているが対策を練って価格を抑えている。10～12月売上は前年比6%増加を見込む。（鎌倉地区）

〔不動産売買業〕
7～9月売上は前年比横這い。相続相談業務に力点を置いており、遊休不動産の買取・販売を重視。住宅ローンの推進活動にも力を入れ、10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（鎌倉地区）

〔不動産売買業〕
7～9月売上は前年比横這い。相続相談業務に力点を置いており、遊休不動産の買取・販売を重視。住宅ローンの推進活動にも力を入れ、10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（鎌倉地区）

〔サービス業〕
7～9月売上は前年比10%増加。学校清掃入札に成功したことが要因。気温上昇により窓ガラス清掃時において従業員の体調管理のため休憩時間をこまめに設けることが必須であり、業務効率の低下が課題。10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（横須賀・南部地区）

〔旅館・飲食業〕
7～9月売上は前年比横這い。晴れの日が多かったが気温が高すぎたこともあり、予想ほど売上げは伸びなかった。また、材料費の高騰で利益が圧迫され価格の変更も検討しているが、客数の減少を懸念して改訂できずにいる。10～12月売上は前年比横這いを見込む。（横須賀・北部地区）

〔湘南地区〕（逗子、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、寒川、平塚）
の業況判断指数は全体でプラス26（プラス12）で前回調査から14ポイント改善した。製造業はプラス8（マイナス10）、建設業はプラス37（ブ

ラスマイナス0）、卸・小売業はプラス30（プラス22）、不動産業はプラス33（プラス33）、サービス業はプラス25（プラス15）となった。（内同）

〔製造業〕
〔試験片製造業〕
7～9月売上は前年比5%増加。原材料価格高騰から価格転嫁を徐々に言い利益確保に努めている。10～12月売上は前年比5%増加を見込む。（鎌倉地区）

〔不動産業〕
7～9月売上は前年比横這い。県内の不動産は高止まりで仕入は難しい状態が続いている。今まで仕入をしてこなかったエリアも情報を集め、割安だと判断したら積極的に買い付けを行う方針に転換した。10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（鎌倉地区）

〔不動産売買業〕
7～9月売上は前年比5%増加。大規模PJは堅調を維持し、周辺では商業施設の建築も進んでいることから将来的な需要拡大が期待される。市場動向を注視しつつ在庫確保を目指し、10～12月売上は前年比5%増加を見込む。（茅ヶ崎地区）

〔音響音楽制作業〕
7～9月売上は前年比5%増加。ラジオ番組の音響制作やライブ等の音源作成が好調。現状の従業員数では回らないこともあり、外注費が増加。アーティストのライブで音響を担当する大きな案件もあり、10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（藤沢地区）

〔写真館業〕
7～9月売上は前年比5%増加。昨年に比べ夏祭り等イベントが多く開催されたことが要因。輸入に頼っている原材料費の高騰は続いており、価格交渉を行っている。補助金等を活用して最新のカラープリンターを導入予定であり、製品の品質向上、電気代的大幅削減が見込まれ、10～12月売上は前年比5%増加を見込む。（寒川地区）

〔不動産売買業〕
7～9月売上は前年比横這い。中古マンション仕入が高値のうえ売却に時間がかかる傾向にあり、建築材料高騰により主に宅地売りのPJ案件に注力。現在の在庫物件も年内売却となる見通しで、10～12月売上は前年比20%増加を見込む。（藤沢地区）

〔建設業〕
7～9月売上は前年比5%減少。国内需要低迷に伴い、親会社からの受注が減少。利幅の少ない受注も請け負うことで売上げを確保している。新たな即戦力要は引き続き多く、安定した受注を確保できている。10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（横須賀・平塚地区）

〔卸・小売業〕
7～9月売上は前年比20%増加。自然由来の石鹸やボディオイル、衣類等のネット販売を行っている。実店舗を2年前にオープン。顧客の認知度が向上

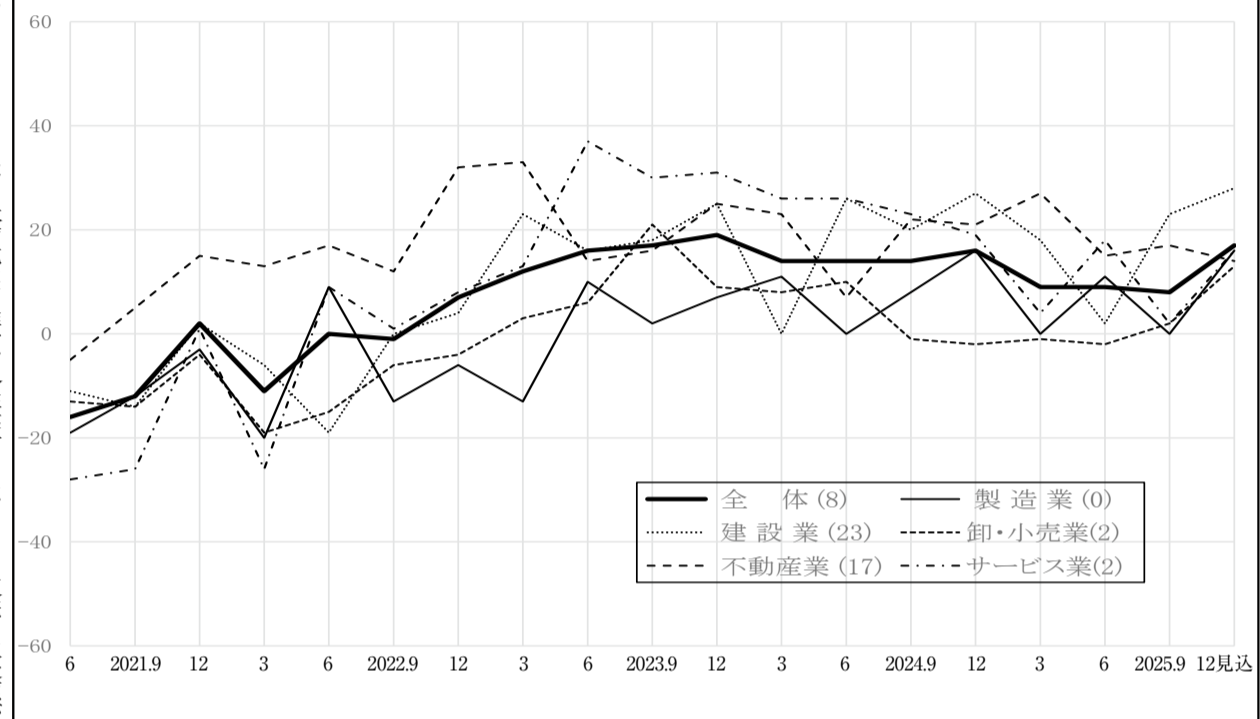
〔食品雑貨等販売業〕
7～9月売上は前年比10%増加。連日の暑さにより熱中症対策で飲料水販売が好調。店頭だけでなく設置している自動販売機も好調。外国人を含む観光客は今後も多くなることを予想。10～12月売上は前年

比10%増加を見込む。（鎌倉地区）

〔香料製造業〕
7～9月売上は前年比5%増加。今年の夏は例年以上に猛暑が予想されたことから、需要時期前からのき水用のシロップ製造を開始しており、販売価格も値上げした。また焼酎・サワ1用の香料製造も行っており、年末年始の忘年会・新年会シーズンにおいても安定した売上げを目指す。10～12月売上は前年比横這いを見込む。（横須賀・磯子区）

〔特殊車両部品リペア業〕
7～9月売上は前年比横這い。受注は安定しているが、一人当たりの生産数に限りがある。防衛費増加で受注数は安定。トランプ政権による影響で大きく情勢が変わった過去もあることから不安もある。10～12月売上は前年比横這いを見込む。（東京・大田区）

中小企業短期景気観測調査



〔建築請負工事業〕
7～9月売上は前年比30%増加。展示会への出店やモデルルームの内覧会により受注増加。原材料高騰しているものの受注価格に転嫁はできている。10～12月売上は前年比30%増加を見込む。（東京・大田区）

〔卸・小売業〕
7～9月売上は前年比5%増加。仕入価格の上昇により厳しい状況だが販売努力によりカバーしている。天候次第で価格や売場が変わってくるので目利きが大切となっている。10～12月売上は前年比3%増加を見込む。（横須賀・西區）

〔パル製品卸小売業〕
7～9月売上は前年比15%減少。夏場の販売は例年下降するが、今夏は特に猛暑で外出控えも散見され、物価高の影響も重なった。秋以降客足も回復することからキャンペーンや新商品開発に注力して既存顧客の囲い込みと新規顧客獲得に向け営業する。10～12月売上は前年比5%増加を見込む。（横須賀・金沢区）

〔建設業〕
7～9月売上は前年比5%減少。工事の受注数は増加傾向だが、人手不足により受注をさばき切れていない。今夏の猛暑による作業効率も影響している。外国人雇用等により人材を確保することで受注増に対応。更なる人員強化が課題。10～12月売上は前年比5%増加を見込む。（横須賀・緑区）

〔型枠工事業〕
7～9月売上は前年比5%増加。首都圏を中心としたマンション等の建設需要は引き続き多く、安定した受注を確保できている。10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（横須賀・戸塚区）

〔不動産売買業〕
7～9月売上は前年比10%増加。横濱から都内に

〔自動車修理業〕
7～9月売上は前年比5%増加。主要取引先である商用車レンタル業者からの依頼が増加傾向。受注に對し人員が確保できず、アルバイトで凌ぐか検討中。10～12月売上は前年比5%増加を見込む。（横須賀・金沢区）

〔飲食業〕
7～9月売上は前年比横這い。週末の客入りは良いが、平日の売上げ拡大が課題となっている。打開策としてデリバリーを開始した。徐々に注文が増えてきたことから10～12月売上は前年比10%増加を見込む。（東京・大田区）

〔卸・小売業〕
7～9月売上は前年比20%増加。自然由来の石鹸やボディオイル、衣類等のネット販売を行っている。実店舗を2年前にオープン。顧客の認知度が向上

〔食品雑貨等販売業〕
7～9月売上は前年比10%増加。連日の暑さにより熱中症対策で飲料水販売が好調。店頭だけでなく設置している自動販売機も好調。外国人を含む観光客は今後も多くなることを予想。10～12月売上は前年

比10%増加を見込む。（鎌倉地区）

〔香料製造業〕
7～9月売上は前年比5%増加。今年の夏は例年以上に猛暑が予想されたことから、需要時期前からのき水用のシロップ製造を開始しており、販売価格も値上げした。また焼酎・サワ1用の香料製造も行っており、年末年始の忘年会・新年会シーズンにおいても安定した売上げを目指す。10～12月売上は前年比横這いを見込む。（横須賀・磯子区）

〔特殊車両部品リペア業〕
7～9月売上は前年比横這い。受注は安定しているが、一人当たりの生産数に限りがある。防衛費増加で受注数は安定。トランプ政権による影響で大きく情勢が変わった過去もあることから不安もある。10～12月売上は前年比横這いを見込む。（東京・大田区）

中小企業短期景気観測調査

